

科目名	PAL（専門職中国語）	科目コード	1256	単位数	2
担当者名	複数担当教員（中国語）	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	A,G	実務経験	無
ナンバリング	MCh507	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本講義は、「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学の教育目標を踏まえ、中国と北海道地域との文化・経済の交流や発展に貢献できる人材を養成することを目標とする。また、経済や経営に関わる中国語の学習を重視し、仕事、暮らしのビジネス場でよく目にする商学の中国語の語彙・表現を身に付けるように、教科書に沿って、中国の現状を把握してもらうことを目指す。さらに、これまで習得した中国語能力を活かし、さらに、上級レベルの語彙や文章を解読し、自ら感想や見解を述べるような力を養うことをねらいとする。

● 到達目標

HSK5～6級レベルの語彙を学び、中国の現状や課題をよく分るようにすること。  
 自分の見解を中国語でプレゼンして発表すること。  
 専門知識や商学実務に必要なコミュニケーション能力に到達すること。

● 授業内容

- 1週目 教科書「三大産業の区分」
- 2週目 教科書「銀行サービスのガイドライン」
- 3週目 教科書「不動産産業」
- 4週目 プレゼン発表「礼儀作法について」（中国と日本について）
- 5週目 教科書「会社の概要」
- 6週目 教科書「パソコンの新製品」
- 7週目 教科書「取締役会議の記録」
- 8週目 プレゼン発表「ネットワーク生活について」
- 9週目 教科書「生産部門」
- 10週目 教科書「SNS」
- 11週目 教科書「物流産業」
- 12週目 教科書「投資方式の紹介」
- 13週目 教科書「経営管理の課題」
- 14週目 教科書「環境・再生利用」
- 15週目 教科書「労働契約」
- 16週目 プレゼン発表+期末テスト。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

語学力を早く上達するためには、授業内容を事前に予習、復習、そして繰り返す練習することが大事である。  
 そのため、毎回授業の前に、教科書の内容に関連する資料や単語、文型を調べて30分以上予習し、その上、毎週のテーマをしっかりと取り組んで、毎回授業後に復習として本文を訳してから提出する。また、自分の見識や見解をプレゼンを作成し、授業中に発表する。

● 成績評価の方法・基準

単位の評価は毎回プレゼン発表と期末テストの成績を合算して評価する。  
 なお、HSK5級（重視）・6級（重視）の成績をポイントとして合算して評価する。

● 履修上の留意点

毎回、授業に出席するのが基本である。なお、理由なく5分以上の遅刻は欠席とする。成績の評価は、授業が前16週のうち、11週以上出席した学生を対象にする。なお、PAL の履修は中国語会話・作文 の成績がB+評価以上を条件とする。また、やむを得ずオンラインで受講する場合、カメラを解除して受講することが必須な受講条件とする。

● 課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法としては、プレゼンや宿題などをチェックしてから、自己点検を行わせる形で行う。

● テキスト

大羽りん・趙青『商経学部生のための読む中国語』白水社  
 2024年1月 2200円+税

● 参考書

HSK5級単語帳  
 HSK6級単語帳  
 HSKの過去問を無料ダウンロード（1～6級過去問・リスニングあり）  
<https://12daimedaimonya-chinese.com/hsk-download/#HSK1>

● 更新日付

2024/01/12 05:49